



羅針盤

社会科部 情報活用委員会

ふるさと岡崎の心の醸成

藤川小学校 校長 片桐 徹

本年度も岡崎市の教育重点項目の一つとして「ふるさと岡崎の心を醸成する学習の推進」が示されました。社会科では郷土読本を活用して、郷土の偉人について学ぶ中で、ふるさと岡崎で大切にされてきた人・もの・ことを追究・考察しながら学習を進めています。特に小学校では、徳川家康や徳川家を支え続けた家臣団を取り上げ、各学区とのつながりや岡崎市との深い関わりについて考える学びを大切にしています。

岡崎城天守閣の入口付近にある東照公遺訓碑は、建立から80年以上を数えます。碑文案内板には遺訓文とともに「慶長8年正月15日」と記されていますが、遺訓そのものは家康の死後かなり経ってからつくられたこと、そして岡崎でつくられたものではないことが明らかになっています。それでも家康の願いや教えが、今日まで残され、伝えられ、この岡崎で今も大切にされているのは何故なのかを考えることは、とても意義深いことです。ともすると「遺訓＝岡崎の心」と捉えられることがありますが、社会科で岡崎の心を明らかにする必要はなく、ましてや岡崎の心を教えることはできません。社会科学習の原点は、確かな資料（史料）を基にして物事を様々な面から見て考えることにあります。

では、社会科で岡崎の心の醸成を図ることができるのでしょうか。それは、郷土の成り立ちを深く知ることで、郷土に愛着、誇りを感じる子供が育ち、郷土の中に、今の自分の拠り所となるものを見ようとする子供が育つところにあるように思います。大切なことは、私たちが岡崎の社会科で目指すものを明確にしたうえで、子供たちとの学びづくりに向き合うことです。

社会科・新任の先生の紹介

美合小	戸田 優花	矢作北小	板矢 暁
細川小	富嶋 千聡	矢作西小	斎藤 真彦
細川小	浅井 康雄	矢作南小	谷口 理貴
大樹寺小	星野 智史	六ツ美北小	潮田真佑季

今年度の社会科部の新任は13名です。
どうぞよろしくお願ひいたします。

六ツ美南小	加藤 浩	夏山小	安原 宏紀
上地小	細井 春希	甲山中	寺脇ゆうろ
北野小	村井 捺美		

「夏休みこども体験講座」 「夏休み社会科自由研究相談会」

- 期 日 7月22日(月) 23日(火)
- 時 間 14:00～15:30
- 場 所 岡崎むかし館 (りぶら1階)
- 講 師 山崎 彰伯 先生
森田 淳一 先生
- その他 ・参加希望者は、上記の時間帯に、岡崎むかし館に来てください。
・事前の申し込みは必要ありません。
・児童生徒にお知らせください。



愛知県社会科教育研究大会

- 1 テーマ 「仲間とかかわりながら、よりよい社会づくりへの参画をめざす社会科の授業」(2年次)
 - 2 期日 令和元年10月23日(水) 12:40～16:40
 - 3 会場 安城市立安城北中学校
安城市立安城中部小学校
- ※詳細は後日配付されます案内をご覧ください。
※本年度、岡崎市社会科部の代表として、原田庸平先生(矢作北中)と酒井孝康先生(額田中)が実践を報告されます。多くの先生方のご参加をよろしくお願ひします。

発見！一押し地域教材！

(美川中 杉下 尚先生)

「農場見学」(美川中学区)

★授業への活かし方★

○中学校2年生

単元「日本の農林水産業」におすすめ！

○学習課題

「日本の米産業はようになっていくべきか考えよう」

★この教材を使い、工夫した点★

①伝統的な米作りを継承しつつ、新たな米作りの在り方を模索！

日本の誇りである、安心・安全でおいしいお米づくりのために日々努力されている学区の農家さんを教材化しました。米作りの工夫や、先進的な取り組みについて聞くことができました。

②インタビュー映像を2つ用意

インタビュー映像は2つ用意しました。生徒の反応に合わせ、①「日本米がいい！」→「米作りに対する思いや工夫、大変さを語っていただいたインタビュー」、②「カリフォルニア米がいい！」→「日本の米産業の現状について語っていただいたインタビュー」のどちらかを提示しようと考えました。

外国産と日本産のお米の食味体験もしました。



必見！授業技！

(額田中 酒井孝康先生)

～グループ活動を取り入れた授業～

【本時までの流れ】

南四国の構原町と岡崎市の額田地区。それぞれの実態を比較しながら、両地区が抱える過疎化問題を明らかにしました。過疎化問題の解決策を話し合う中で、未来のふるさと額田を守るために自分ができるように関わっていくのか考えました。

【グループ活動の意図】

- ① 資料を読み取る技能を高める場面では、2つの地区の人口や公共施設の資料を見せ、「どう思う？」「教えて？」と問いました。グループで多様な意見を出し合い、多面的・多角的に捉える力の育成を意図しました。
- ② 考えを作り上げる力をつける場面では、南四国の事例をどうしたら額田地区にも生かせるかという視点を基に意見の再構築を行い、自分の考えがより確かなものとなるように意図しました。



グループ活動の話し合いをホワイトボードにまとめ、可視化しています

自主研修セーリング報告

今年度のセーリングは、「子供が生き生きと学ぶ授業づくり」をテーマに、若手とベテランが一緒になって学んでいきます。第1回は指導員の森田淳一先生による導入の工夫、第2回は六北中の三浦良見先生による話し合いの工夫について、模擬授業を行いました。ちょっとした工夫で授業が変わると、大変好評でした。社会科部の方、社会科の授業をされる方、ぜひお気軽にご参加ください！第3回は、9月6日(金)に開催です。



模擬授業をされる
森田指導員